

ひろの 議会だより



QRコードを読み込むと議会の情報を見ることができます。

躍進の未来を照らす

令和三年 丑年

P2 12月定例会 こんなことが決まりました

P5 長期持続的な財政運営を(定例会質疑)

P10 5議員が町政を問う(一般質問)

No.148
令和3年1月22日発行
福島県広野町議会

E-mail gikai@town.hirono.fukushima.jp

新年のごあいさつ

広野町議会議長 北郷 幹夫



令和3年の新春を迎え、議会を代表し謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様には日頃より議会運営に対しご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年は、新型コロナウイルス感染症により生活様式が大きく変

わった一年でありました。

その影響は大きく東京オリンピックが一年延期、本町においては、サマーフェスティバル、童謡まつり等の各種事業、イベントが中止になりました。

新型コロナウイルス感染症は、今もなお続

く猶予ならない国際的な問題であります。ワクチンや特効薬が開発され、一日も早く感染が収束することを願うばかりです。

本年は、東日本大震災及び原子力事故から10年の節目の年であります。復興の拠点と位置付けた広野駅東側及び周辺において、駅構内や未来のかけ橋にエレベータを設置する工事が予定されており、着実な復興への歩みがまた一つ形として見えてきます。

議会といたしまして、責任の重要性を認識し、町行政としっかり議論し、町民の皆様の声を町政に反映し復興に取り組んで参ります。議会改革の取り組みといたしまして、議会定例会のインターネット動画配信を始めます。結びに、町民の皆様にとりまして、本年が幸多き一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



12月定例会

こんなことが決まりました

令和2年第4回定例会を12月7日から8日までの2日間の会期で開きました。

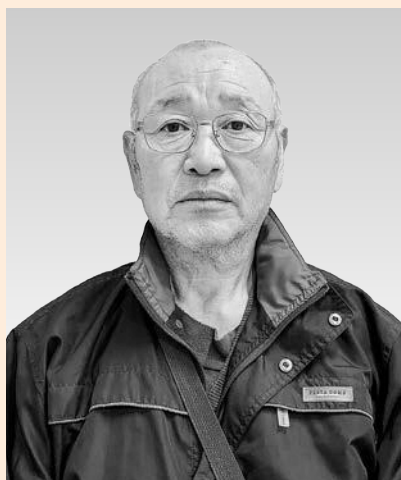
町長から町政全般についての経過報告が述べられるとともに、一般会計・特別会計補正予算を含む全8議案と議員発議2件が提出され、すべて原案のとおり可決しました。

また、一般質問では5人の議員がそれぞれ町の対応や考えを問いただきました。

人事案件に同意

広野町固定資産評価審査委員会委員に池田政明氏を再任することに同意しました。

任期は、令和3年3月1日から3年間です。



池田 政明 氏
(折木)

差別のない町づくり 広野町人にやさしいまちづくり 条例を制定

新型コロナウイルス感染症をはじめとする疾病、傷害、性別等を理由とした誹謗中傷などのあらゆる差別による人権侵害を防ぎ、町民一人一人が人権を尊重し、思いやりの心を持ち、互いに支え合う共助の理念のもと、人にやさしい町、住みよい地域社会、町民一人一人が幸せに暮らせるまちづくりを実現することを目的として町と町民等の責務を定めた条例を可決しました。

土砂採取地の防災のため 道の駅土砂採取工事変更契約を可決

硬質な岩盤が出現したため掘削土量を減らし、大雨、崩落、土埃などへの対策を行い、再利用を予定していた木材の場外処分を行います。

工事の名称 道の駅土砂採取工事
 契約の金額 192,240,000円を
 197,229,600円に変更
 契約の相手方 道の駅土砂採取工事
 田中・五社山特定建設工事共同
 企業体



防災対策強化のため調査中

12月の補正予算

| 会計名 | 補正額 | 補正後の予算額 |
|--------|-----------|-------------|
| 一般会計 | 9829万1千円 | 59億6682万1千円 |
| 土地開発事業 | 74万1千円 | 1億6621万6千円 |
| 介護保険 | 504万9千円 | 6億4701万1千円 |
| 合計 | 1億408万1千円 | 67億8004万8千円 |

主な内容

- 東日本大震災追悼イベント事業 145万4千円
- 新型コロナウイルス感染症対策事業 158万1千円
- 東町仮置場跡地掘削造成調査設計委託 900万円
- 未来のかけ橋エレベーター設計委託 119万8千円



議員発議で意見書

東京電力福島第一原子力発電所の放射性物質トリチウムを含む処理水に関する意見書

提出者

黒田 政徳 議員

賛成者

門馬 巧 議員

北郷 伯弘 議員

〔要旨〕

各地方議会においては、海洋や大気への放出に反対する意見、或いは国の責任における早期方針決定など、ALPS処理水に関する議決書、意見書が可決されている。

広野町は双葉地方復興の最前線拠点としての役割を担い、帰町した町民も生活の安寧を取り戻しつつある。

しかし、ALPS処理水をめぐる問題を先延ばしにすることは、町民に更なる不安を抱かせる恐れがある。

よって本町議会は、下記の事項について強く要望する。

- ① ALPS処理水の処分方針について、国の責任において早急に決定すること。
- ② ALPS処理水の処分方法は、福島県民はもとより国民に対して丁寧な説明を行い理解が得られるよう慎重で最適な方法を講じること。
- ③ ALPS処理水の処分方法の決定による新たな風評被害が、復興や住民帰還の妨げとならないよう責任をもって対策を講じること。

〔提出先〕

内閣総理大臣
経済産業大臣

反対討論

示すべき具体的な案を
阿部憲一 議員

トリチウムの問題は、原発の維持や核燃料サイクル事業と密接にかかわっています。

国はトリチウムを保管すると他の原発事業でも同じように保管しなければならぬという世論が生まれ、核燃料サイクル事業自体が失敗してしまうため当初から海洋放出したいと考えています。

そして、双葉町、大熊町に対して他の選択肢がないように圧力をかけています。

国は県民が望んでいるようにもっと丁寧な説明をするべきです。

今回の意見書というのは、町の方向性が何も示されておらず、その上に早急に決定することと記載しており、

国の方向性を後押しするものです。

他の議員からは国の方針を示した後に再度意見書を出すこともできるとの意見がありましたが、国が一度決定してしまえば覆すことは難しいと考えます。そうなればこの意見書が広野町議会の最終的な意見となり、大きな禍根を残します。

少なくとも海洋放出に反対する文言や具体的な保管方法、或いは処理方法を記載し、こちらから国に提案すべきと強く思います。

その他の可決議案

- 議案第85号 広野町教育委員会事務局の指導主事の給与に関する条例の制定について (指導主事の給与に不利益がないようにするための条例制定)
- 議案第86号 広野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 (地方税法施行令の改正が令和3年1月1日から施工されることに伴う条例改正)
- 発議第3号 広野町議会会議規則の一部を改正する規則 (地方自治法の引用条項や記載内容を現状に則して改正)

12月定例会 質疑

長期持続的な財政運営を

12月定例会の質疑では、詳細な事業の内容や財源などにも注目し、多くの質疑や意見が出されました。その中の一部を紹介します。

キッズゾーン整備の内容は

門馬巧議員

こども園周辺道路のキッズゾーン整備に係る路面塗装工事費用として244万7千円の補正予算が計上されていますが、どのようなものを整備するのですか。

坂本こども家庭課長

形状はゾーン30のようなもので、幅が約2メートル、長さが約5メートル程度のもので8カ所に整備する予定です。材質については耐用性等を考え、建設課などと協議して決定していきます。



ゾーン30（下北迫）

ジャズフェス実施の理由は

黒田政徳議員

新型コロナウイルス感染症の影響で童謡まつりが中止となったことで予算が減額されています。町長の経過報告の中でジャズフェスという報告がありました。童謡まつりが中止になる中でどういった経過で開催したのですか。

小松復興企画課長

童謡まつりは、県の屋内イベント開催指針について、ガイドラインに沿ってイベント開催の有無を決定し、残念ながら開催に至りませんでした。

ジャズフェスについては、実際に事業を実施したのは民間の団体ですが、町として協賛し積極的にかわって事業を実施しました。本イベントは、規模が小さく、的確な感染対策ができるということもあり実施しました。



町は後援で実施

道の駅整備の今後は

小磯 利雄 議員

今回の変更契約で土砂採取工事は終了するのですか。
また、今後はどのような整備を検討し、今後どういった費用がかかりますか。

高橋 建設課長

今回の変更の内容は主に、土砂を掘削した後の仮設的な災害対策等で、工事は一度終了します。
今後は、防災エリアとしての整備を検討していきます。
現在は本災害対策工の設計を進めており、3月に金額が算出される予定です。



緑色のコート剤で土埃対策

軽微な修繕の内容は

黒田 政徳 議員

小松 復興企画課長

11月の総務文教常任委員会、今年度にサッカー支援センター「柊」の軽微な修繕を行うとの説明がありました。
600万円の補正予算が計上されていますが、これは軽微と言えますか。

アカデミーの生徒が4月に入学することが決定しており、不自由のない生活ができる環境整備のため、浴槽や照明機器、給湯設備を修繕する必要があり、細かい修繕の積み重ねで費用がかさんでいきます。
次年度は、国の補助を使い屋上の防水などの大規模な修繕工事を行いたいと考えています。



サッカー支援センター「柊」(下北迫)

指導主事配置の意義は

門馬巧 議員

根本 教育長

指導主事は必ず置かなければならないものなんでしょうか。
また、現在任用している指導主事はどのような職員なのでしょうか。

学校の中だけでは対応が難しい指導内容が増加しており、それらに対応するために指導主事を置くものです。
現在任用している指導主事は、福島大学付属小学校に勤務した経験があり、そういった指導に長けている教員です。

既存条例との違いは

黒田 政徳 議員

飯島 教育次長

指導主事の給与に関する条例について、以前、校長先生か教頭先生を経験した方が教育委員会にいた際に、職員の給与に関する条例を改正したと思いますが、そちらは今後も継続して適用されるのですか。

平成27年に職員の給与に関する条例で規定する行政職給料表の6級に新たに23号給を追加する改正を行いました。

今回の条例制定は、若い指導主事を任用した場合などに、町行政職給料表と県教育職給料表の昇給幅の差に対応し給与に不利益が生じないようにするためのものです。
過去に改正したものは今後も継続して適用されます。

いづも園のコロナ対策は

畑中 大子 議員

坂本 とも家庭課長

歳入に県からの補助金50万円が増額計上されており、こども園のコロナウイルス対策を行うということですが、どのような対策をするのですか。
また、こども園では何歳からマスクをしなければならぬことになっているのですか。

子どもたちの様子をオンラインで確認する機会が増えることが予測され、9月補正予算で承認いただいた、こども園インターネット整備事業委託料に充当する予定です。
年齢を定めてはいませんが、マスクの着用は、自分の意思で外すことができるか注意を払って保育しています。



マスクでも元気いっぱい

報告

を報告します

11月12日（木）
総務文教常任委員会

調査件名

- 広野駅東側開発について
- JFAアカデミー福島への取り組みについて

総務文教

広野駅東側開発

住民や議会とも協議を

未来のかけ橋と駅構内の跨線橋へのエレベーター設置について、構内跨線橋は、設計・工事ともにJR東日本で行うこととなるため、同時期に完成するかは不透明とのことでした。委員からは災害時にエレベーターが停止した際の足の不自由な方の避難ルートも勘案して事業を進めることや、工事の際には十分な周知と安全確保を行うよう意見がありました。

企業等の立地状況は1万7千㎡程度が空いており、現在1社に打診をいただいている状況で、今後も誘致を進めるとの説明でした。

※ AIスマートシティプロジェクトの推進や医薬品開発に係る連携・協力の関係機関の誘致先については、駅東側を考えているが、医薬品開発は管理区域を設置しなければならぬことも想定され、

既存の公共施設の再利用等も視野に入れて適地を検討していくとの説明でした。

第2期整備における住宅開発に関しては、住宅地の造成に適さない盛土材の撤去を行っているとのことでした。

移住・定住促進のためのパンフレットの構想については、駅東側の住宅地をパンフレットの1項目として移住・定住を幅広くとらえ、福祉や教育などサービスを一括した、分かりやすいものを検討することとした。

移住定住促進のための助成措置などを検討する際には町民や議会とも十分に協議を行うよう意見がありました。

※ 人工知能技術を活用した防災モデル事業

総務文教

JFAアカデミー福島 相乗効果生む環境整備を

令和3年4月からのJFAアカデミー福島の福島での活動再開に向け、広野町サッカー支援センター「柊」の機能回復調査と備品調査業務を発注しており、令和2年度に軽微な修繕を行い、令和3年度には補助事業により防水等の大規模修繕工事を行うとのことでした。

震災以前のアカデミー生が、今年に子どもたちのためにサッカー教室を開いてくれるなど交流が今も続いており、町、教育委員会として子どもたちが良い意味で刺激し合うことを期待して、教育プログラムの充実に努めていきたいとの説明でした。

また、男子寮の新型コロナウイルス対策は、以前と比べてアカデミー生の人数が減少したことにより、4人で1部屋使用していた部屋を今後は2人1部屋を使用することができ、また、新しい生活様式に基づく感染症対策を町とサッカー協会等で情報共有しながら対応にあたっていきたいとの説明がありました。



未来のかけ橋にエレベーター（下浅見川）



広野町サッカー場（下北迫）

● 11月13日（金）
● 産業厚生常任委員会

● 調査件名

- 農林業の振興について
- 新型コロナウイルス感染症対策について

委員会

各常任委員会の活動状況

産業厚生

新型コロナウイルス対策 検温設備の整備を

町内で発生した陽性患者の感染源は、保健所で調査したが、特定されていないとのことでした。

町の各施設では、利用者の検温、マスクの着用、衝立の整備、座る位置の工夫などの対策を行っているとのことでした。

避難所で感染症対策のため、防災倉庫にワ

ンタッチパーテーション56張を確保し、基礎疾患を持つ高齢者がホテルハタゴインに避難できるように協定を締結しているとのことでした。

地域経済支援としては安全安心ネットワーク会議に参加している企業に町内商店街の利用促進のお願いをしているとのことでした。

教育施設では、文科省指導に基づいて対策をとり運営しているとのことでした。

新生児子育て応援特

別定額給付金については、特別定額給付金の基準日に出生していないかた住民に対する給付金で支給金額は10万円です。

感染者の早期発見・拡大防止対策としてのカメラ検温の整備について意見があり、今年度中に予算を計上し整備を検討しているとのことでした。

今後も感染症患者の情報は県が一元管理し、町においても情報を整理し公表できるものについては公表していきたいとの説明がありました。

産業厚生

農

林業振興 農業継続への支援を

耕作放棄地の増加抑制と後継者不足対策としての報奨金制度創設についての意見には、現在、認定農業者協議会と後継者の育成について協議をしており、報奨金制度を実施するかどうかは、今後、各関係者と協議して検討していくとのことでした。

効率的な農業経営に向けた農地集積への取

り組みについては、認定農業者協議会で議題とするとのことでした。林業振興の今後については、新たな林専道やそれに付随する森林整備を検討しているとのことでした。

餌付けによるイノシシ被害対策については、他の自治体での事例や効果、方法について調査することとした。

スマート農業2年間

の技術実証プロジェクトについては、国のプロジェクトであり、町としても推進を計っていく考えであるとのことでした。

兼業農家が農業を継続するための取り組みについては、後継者対策の一環でもあり、関係者と協議、検討することとした。



役場正面入口での検温



補完工事を待つ水田（折木）

5人の議員が 町政を問う

門馬 巧 ●元町長 故 松本一郎氏顕彰碑
建立について

畑中 大子 ●双葉郡に保健所を設置すること
について
●インフルエンザワクチンを全世
代無料化について
●街路灯・防犯カメラの設置で学
園近接道路の安全確保について

遠藤 浩 ●防災用品備蓄の分散について
●「子ども会」活動の再開につい
て

小磯 利雄 ●道の駅について
●総務省資料及び本町の年間所得
について

阿部 憲一 ●前町長の証言のことについて
●避難者の経済負担について

一般質問は、行財政全般にわたって執行
機関に疑問点をただし、説明を求めたり
所信を問いただすものです。

追跡 レポート

追跡
レポート

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後
どうなったのか、どう町政に反映させているのか、対応を
追跡しました。

●令和2年6月定例会 ● 一般質問

遠藤 浩 議員

避難所の感染症対策は

避難所での感染症予防のため、エリアを区画す
る資材を購入し備えている行政もあるようで
すが、当町の対応策を伺います。

ワンタッチパーテーションで対応

滞在スペースにはワンタッチパーテーショ
ン及びプライベートルームを設置し、通路は
できる限り通行者がすれ違わないよう配慮し
ます。

追加購入し避難訓練を実施しました

日本赤十字から寄付いただいたワンタッチ
パーテーション21張に加えて35張を追加購入
し、津波避難訓練ならびに新型コロナウイルス
感染症対策に基づく避難訓練を実施しまし
た。



避難所設営訓練（中央体育館）



もんま たくみ
門馬 巧 議員

門馬

故 松本一郎氏は、
広野町議会議員、第6
代広野町長として本町
の発展に尽力を賜りま
した。
幼稚園舎建築を始め、
中央台住宅地造成・公
民館・福祉センター・
広野工業団地造成・町
内各地域圃場整備・小
学校校舎・保育所・学
校給食共同調理場新築
工事等、数々の公共施
設の整備を成し遂げる
とともに、町民等の雇
用の場の確保、住宅団
地整備等本町の発展に
大きく寄与する政策を
次々と打ち出されまし
た。

町長

故 松本一郎氏は、
町議会議員並びに町長
として、ただ一筋に町
政に献身され、一農山
村に過ぎなかった広野
町に今日の発展をもた
らした功労者です。
地方自治の振興と発
展に寄与された数々の
功績が認められ、勲五
等双光旭日章の荣誉に
輝いたことは、町の誇
りです。
顕彰碑建立について
は、広く町民の理解と
総意を基に建立される
べきものと捉えており
ます。
東日本大震災、福島
第一原子力発電所事故
からの復興創生は道半
ばの現況にあります。
ご進言されたことを
重く受け止め、顕彰碑
建立について慎重に対
応していきます。

顕彰碑建立

故松本一郎氏の功績传承を

町長／慎重に対応していく



大和田清之助氏の顕彰碑（公民館前）



はたなか ひろこ
畑中 大子 議員

新型コロナウイルス

双葉郡に保健所設置を

町長／スタッフ増員見込めない

畑中

新型コロナウイルス感染症の被害が拡大する中で、保健所の役割は重要な位置を占めています。相双管内には1カ所しかありません。

感染症への迅速な対応が必要時に、双葉郡に保健所を設置することで、公衆衛生機能や検査体制を広げることができそうです。検査体制がより充実するように、保健所を双葉郡内に、できれば町内に設置することを要請するべきではありませんか。

町長

相双保健所では、新型コロナウイルス感染症対策における人員不足のため、他の業務担当者の応援を得て現体制を維持しています。全国的に感染者が増加傾向にある中で、専門スタッフの増員が見込めない現状です。

今後の保健所機能体制を念頭に、双葉郡内の新型コロナウイルス検査体制のより充実を図るべく要請していきます。

インフルエンザ

ワクチン全世代無料化を

町長／高齢者と子どもを優先

畑中

①双葉郡内の他の自治体では、年齢制限なく無料で接種できると聞きました。

新型コロナウイルス感染症は誰もがかかる恐れのある疫病であり、インフルエンザの同時流行が懸念されています。

より多くの方がワクチンを接種できるように、広野町でも全世代無料で接種できるようにすべきではありませんか。

②町内医療機関でワクチンを受ける人は窓口で申し込めるのですが、町外医療機関の場合は接種済証が必要です。対象者に郵送するべきではありませんか。

町長

①町内医療機関においては、ワクチン不足により接種ができない期間が発生しています。65歳以上の高齢者インフルエンザ予防接種実施期間を令和3年1月31日まで延長し、適正なワクチン接種が出来る環境を整えるために、65歳以上の高齢者と中学生以下の子どもたちを優先し実施していきます。

②町外医療機関で予防接種をする場合には、問診票と接種済証を保健センターまたは町役場に受け取りに来ていただいています。

接種済証については、受け取りに来ることが困難な場合には郵送しています。今後、広報等でお知らせし、接種済証の郵送対応をしていきます。

暗い道

街路灯や防犯カメラの設置を

町長／ふるさと農道に防犯灯設置

畑中

住民懇談会の場で複数の方から、ふたば未来学園の近くの道路の夜間照明が少なく危険なため街路灯などを増やすべきという意見が出ていました。

街路灯や防犯カメラの設置をするべきではありませんか。

町長

ふるさと農道については、ふたば未来学園サッカーグラウンドの新設に伴い、生徒の安

全を確保するため、町道苗代替線との交差点からサッカーグラウンドへの区間に防犯灯を令和2年12月中に6基設置する予定です。防犯カメラは、広野小学校・中学校、認定こども園、児童館並びにふたば未来学園中学校・高等学校を含む文教地区を防犯重点エリアとして、「見守りカメラ」を25台設置し、生徒たちの犯罪不安の軽減並びに監視体制の強化に取り組んでいます。

子ども会

活動再開の状況は

町長／再開に向け協議し取り組み



えんどう ひろし
遠藤 浩 議員

遠藤

幼児・児童とその保護者のコミュニケーション作りと地域社会教育の場となっていた「子ども会」の再開は当町にとって大変重要であると考えます。

以前の質問に対する答弁では、子ども会を再開したいとしていましたが、「子ども会」活動再開の進捗状況について伺います。

教育長

震災以前は、町内に17の「子ども会」があり、様々な事業を実施することで子どもたちや保護者の地域コミュニケーションの場として機能を果たしてきました。「子ども会」活動の再開に向け、平成29年度に幼稚園5歳児、小学生保護者を対象にアンケートを実施し、115人が回答、約6割の方が「子ども会」活動を再開した方が良い、約7割の方が町全体での活動が良いとの結果でした。

平成30年度に「子ども育成会連絡協議会再開準備委員会」、「広野町青少年育成町民会議再開準備委員会」を組織し、震災後、活動を休止していた「広野町青少年育成町民会議」を令和元年度に再開しました。

令和2年度より「子ども育成会連絡協議会」の再開に向けた協議を行う計画について、コロナ禍の状況により動向を注視し、関係各位と協議し取り組んでいきます。

防災倉庫

分断に備えて分散しては

町長／公共施設エリアで集中管理

遠藤

現在、当町では防災倉庫に一括して防災用品を備蓄し管理しています。

町内には折木川・浅見川・北迫川があり、昨年の台風19号では甚大な被害が出ています。

年々、降水量を記録する台風や冬の爆弾低気圧など、川の氾濫や崖の崩落による道路の分断に危機感を募らせています。

災害時に迅速に対応できるように分断が想定される地区に防災用品を分散して備蓄してはいかがですか。

町長

東日本大震災と福島第一原子力発電所事故の経験を踏まえ、災害発生時における適切な物資の搬入・搬出や管理について、全町において様々な被災状況を想定し、立地条件として安全が確保され迅速な対応ができる役場を中心とした公共施設エリアで一括集中管理しています。

近年の記録的な台風や豪雨災害等を踏まえ、町内において備蓄した防災用品を適切に配布する体制を整えます。



防災倉庫 (下北迫)



水防倉庫 (下北迫)



こいそ としお 議員
小磯 利雄

道の駅

整備は中止するのか

町長／防災エリア整備を協議

小磯
①9月定例議会直後、町側から「当面道の駅登録は行わない」と説明がありました。道の駅整備を行うのか中止されるのか伺います。また、国土交通省と整備計画中止を前提とした話し合いはされましたか。

町長
①硬質な岩盤が出現し、当初計画通りに進めることができないことにより、議会全員協議会、道の駅整備検討委員会、地権者説明会、住民説明会を行い、様々なご意見をいただきました。事業整備方針を規模縮小、機能変更し、整備計画を改め、有事の際の防災機能を備える「防災エリア整備」としてとらえ、町は国土交通省との協定のもと協議をして、取りまとめていきます。

②これまでの事業費は当初計画通りに進めることができないことにより、議会全員協議会、道の駅整備検討委員会、地権者説明会、住民説明会を行い、様々なご意見をいただきました。事業整備方針を規模縮小、機能変更し、整備計画を改め、有事の際の防災機能を備える「防災エリア整備」としてとらえ、町は国土交通省との協定のもと協議をして、取りまとめていきます。

③これまでの事業費は5億8千5百万円です。災害防止の事業費については、現在、詳細な設計を行っている段階であり、年度末に事業費が算出されます。④町長は事業執行者であり、町民の命を守る「災害に強いまちづくり」に向け、有事の際の防災機能を備える「防災エリア整備」に、責任を持って全力で取り組んでいきます。

年間所得

他町村との格差への対応は

町長／県内で常に上位にランク

小磯

①2019年総務省発表の資料より全国1741市区町村の所得ランキングが算出されました。

本町の全国・県内・双葉郡内順位と平均所得額はいくらですか。

他町村との所得格差への対応をどうしますか。

②本町の業種別平均所得はいくらですか。

③原発事故10年目の「収入減」についてアンケート調査など、所得状況を把握してはいかがですか。

④「Jerareze」等石炭火力発電所休廃止に肯定的な動きがありますが、本町主要産業である火力発電所の将来についてどう考えますか。

⑤中学生までの子どもを持つ家庭の生活実態調査などを実施していると思いますが、収入

減による教育環境にどのように対応していますか。

町長

①震災以降、平成28年度においては、全国順位は275位、県内順位及び郡内順位はともに6位、平均所得額は3百19万円であり、令和元年度は、全国順位は422位、県内順位は8位、郡内順位は7位、平均所得額は3百10万円、県内において常に上位にランクされています。

②会社員等の給与所得者平均所得額は、3百10万円、自営業等の営業所得者平均所得額は、3百万円、農業所得者平均所得額は、4百7万円、その他所得者（雑所得、不動産所得、山林所得等の合算）の平均所得額は、百68万円となっています。

③新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した方については、徴収猶予の特例制度が創設されている現状において、確定申告の受付の中でも把握し、適切に対応していきます。

④広野火力発電所5号機、6号機、建設中のIGCCは、いずれも休廃止対象には含まれていません。

新しいエネルギー社会創造に向けた施策を注視して、国と県と共に（株）JERAと広野火力発電所の将来像に取り組んでいきます。⑤新型コロナウイルス感染症により収入が減少する等の社会的影響を踏まえ、令和3年度より子育て支援のことも園の一部、小・中学校給食費の無償化を実施する方針としました。

前町長の証言

帰還宣言したと理解できるが

町長／安全な生活の営みができる環境整備に取り組んでいる

阿部

前町長の「第2原発の避難指示の範囲が半径10kmから8kmに縮小されたのは広野町が警戒区域にからないように私が頼んだ、この話は墓に持っていくつもりだった」の新聞での発言。

当時、町民たちは町長は「復興の仕事をやりたいので早く帰町できるようにしたのだろ」と話し、町民の健康や様々な利益を犠牲にしていると非難がありました。

あべ けんいち
阿部 憲一 議員

①遠藤町長は前町長が政府に頼んだ事実をいつ頃知りましたか、知らなかったのですか。政府はどの市町村でも地元の意味を無視して区域指定の解除はやっていません。

②前町長は「帰還宣言」はしていませんが、遠藤町長は「町民の帰還を加速させたい」と語り、住民説明会でも町帰を求める態度が目立ちました。

③前町長は避難する際スクリーニング検査を受けて上着と靴を廃棄。この措置は3月13日まではγ線で衣服の表面線量が1.3万cpm（甲状腺等価線量で最大100mSv相当）以上、以後は10万cpm（同、最大1Sv相当）以上の場合。

毎時6Svや60Svで極めて危険。同時にこのレベルの微粒子を吸い込んでいます。

前町長は当町を離れたのはいつで、それまでの状況を聞き取りし、町民の初期被曝の実態を明らかにするべきです。また、町民のスクリーニング検査のデータを何か保管していますか。

④α核種をどこでどう吸い込むかも分かりません。遠藤町長はこちらの質問に「町民の被曝リスクは少ないものと認識」などと2度答弁して、リスクはあると認識しています。

国・県のデータによれば、この10年近くで浜通りでは千人レベルで過剰に亡くなっている実態が浮かび上がります。現実には世間がボンヤリ思っているものとは全く異なります。

遠藤町長はどう責任を取るつもりですか。

⑤当時の国や県とのやり取りの議事録はいつの何がどう保存されていますか。

町長

①前町長が警戒区域から広野町を外すよう政府に頼んでいたことについては承っておらず、国からの説明も受けていません。

②帰還宣言はしておらず、帰還の判断は、町民一人一人の人權に基づくものであり、町に帰りたいという求めに対応できるように、健康で安心・安全な生活の営みができる環境整備に取り組んでいます。

③前町長が広野町を離れたのは3月15日の避難指示最終広報を実施した後であり、屋外に滞在した時間は把握していません。

町民のスクリーニング検査のデータは、県において保管され適正に管理運営されています。

④県において実施しているモニタリング調査の結果、人口動態調査における悪性新生物及び肺炎の死者数の推移により、被曝のリスクは低く、今後における被曝影響については

少ないものと受け止めてはいます。

町は、国の指針に基づいて県と共に町民の被曝影響による健康管理に適切に取り組んでおり、責任の所在はなにもと考えています。

⑤当時の国や県とやり取りをした議事録は存在しません。

避難者の経済負担

避難者に対して何らかの税の軽減措置は

町長／避難先で適切な行政サービスの提供が受けれます

阿部

なぜ遠藤町長はいつまでも避難者の経済・精神・地理的等の負担を無視して、税金を町内と帰還者ばかりに使うのですか。税の負担の公平を求めるならば、使用も公平に務めるべきではありませんか。

町長

避難先において適切な行政サービスの提供を受けることが出来るようになっており、税負担の公平性は適切に対応されています。

プレミアム付き商品券の目的は、町内の消費喚起を促し商工業者の経営を下支えすること、住民帰還や避難継続に対する経済的な支援として取り組んでいます。

第5回臨時会

10月12日に第5回臨時会を開き、2件の工事請負契約を全会一致で可決しました。

広野町受信障害対策基地局等設置工事

東日本大震災および原子力災害の影響により、停電状況下における緊急時の屋外での情報収集手段としてラジオの必要性が高まったことから、防災体制を強化するため、指定緊急避難所機能を有する広野町中央体育館を中心とした区域のラジオ受信障害対策のための基地局等を整備します。

- 工事の名称 広野町受信障害対策基地局等設置工事
- 工事の場所 広野町中央台地内外

● 請負事業者
(株)NHKテクノロジーズ 仙台総支社

- 工期 令和2年10月13日 着工
令和3年3月31日 完成
- 工事代金 5060万円



放送区域図
※障害物による遮蔽は考慮していません。

折返水路改修工事

広野駅東側第2期開発事業として住宅用地を整備するにあたり、豪雨の際に氾濫する恐れがある水路の改修工事を実施します。

- 工事の名称 折返水路改修工事
- 工事の場所 広野町大字下北迫字折返地内
- 工期 令和2年10月13日 着工
令和3年3月31日 完成
- 工事代金 5,280万円
- 請負事業者 株式会社金村組



大きなU字溝に改修（下浅見川）

第6回臨時会

11月16日に第6回臨時会を開き、PCR検査費用助成にかかる一般会計補正予算と、4件の議案を全会一致で可決しました。



広野町総合グラウンド改修工事

クレイ舗装が長年の使用により減少しているため、改修を行います。

- 工事の名称 広野町総合グラウンド改修工事
- 工事の場所 広野町中央台一丁目地内
- 工 期 着工 令和2年11月17日
完成 令和3年3月31日
- 工事代金 4,950万円
- 請負事業者 西本建設株式会社

トラックの土の舗装を補修（中央台）

補正予算

| 会計名 | 補正額 | 補正後の予算額 |
|------|-------|-----------|
| 一般会計 | 200万円 | 58億6853万円 |

PCR検査の費用を助成

内容は新型コロナウイルス感染への緩和、クラスター（感染者集団）発生予防のため、65歳以上の高齢者等や町内に帰省を希望する大学生などを対象に検査助成を行うための費用、1件あたり約2万円、100件分です。

高齢者等に対する費用については、2分の1の国の補助金が充当され、残りは一般財源です。

町職員等の期末手当を減額

福島県人事委員会勧告にならい、議会議員をはじめ、町長等および教育長、町職員の12月期末手当の支給額を0.05月分引き下げました。

※福島県人事委員会勧告

国および他の地方公共団体の職員の給与ならびに県内民間事業所の従業員の給与水準などについて毎年調査を行い、これらを均衡させる（民間準拠方式）ことを基本とします。

○：賛成 ×：反対 議：議長 欠：欠席 退：退席 除：除斥 無：無記名投票
 ※議長は採決にわりません。

令和2年10月 第5回臨時会

| 議案等番号 | 件名 | 議決月日 | 出席者数 | 表決者数 | 賛成 | 反対 | 議決結果 | 議員名(議席番号順) | | | | | | | | | | |
|--------|----------------------------------|-------|------|------|----|----|------|------------|-----------|----------|-----------|------------|-----------|-----------|----------|-----------|------------|---|
| | | | | | | | | 1 阿部憲一 | 2 北郷伯弘 | 3 遠藤浩 | 4 北郷幹夫 | 5 門馬まりえ | 6 畑中大子 | 7 小磯利雄 | 8 門馬巧 | 9 渡邊正俊 | 10 黒田政徳 | |
| 議案第77号 | 工事請負契約の締結について(広野町受信障害対策基地局等設置工事) | 10/12 | 10 | 9 | 9 | 0 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第78号 | 工事請負契約の締結について(折返水路改修工事) | 10/12 | 10 | 9 | 9 | 0 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

審議結果

令和2年11月 第6回臨時会

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-------------------------------------|-------|----|---|---|---|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 議案第79号 | 広野町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 | 11/16 | 10 | 9 | 9 | 0 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第80号 | 町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例 | 11/16 | 10 | 9 | 9 | 0 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第81号 | 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 | 11/16 | 10 | 9 | 9 | 0 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第82号 | 工事請負契約の締結について(広野町総合グランド改修工事) | 11/16 | 10 | 9 | 9 | 0 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第83号 | 令和2年度広野町一般会計補正予算(第8号) | 11/16 | 10 | 9 | 9 | 0 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

令和2年12月 第4回定例会

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--|------|----|---|---|---|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 議案第84号 | 広野町人にやさしいまちづくり条例の制定について | 12/8 | 10 | 9 | 9 | 0 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第85号 | 広野町教育委員会事務局の指導主事の給与に関する条例の制定について | 12/8 | 10 | 9 | 9 | 0 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第86号 | 広野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 | 12/8 | 10 | 9 | 9 | 0 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第87号 | 工事請負契約の変更契約について(道の駅土砂採取工事) | 12/8 | 10 | 9 | 9 | 0 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第88号 | 令和2年度広野町一般会計補正予算(第9号) | 12/8 | 10 | 9 | 9 | 0 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第89号 | 令和2年度広野町土地開発事業特別会計補正予算(第4号) | 12/8 | 10 | 9 | 9 | 0 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第90号 | 令和2年度広野町介護保険特別会計補正予算(第3号) | 12/8 | 10 | 9 | 9 | 0 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第91号 | 広野町固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて | 12/8 | 10 | 9 | 9 | 0 | 原案同意 | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 発議第3号 | 広野町議会会議規則の一部を改正する規則について | 12/8 | 10 | 9 | 9 | 0 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 発議第4号 | 東京電力福島第一原子力発電所の放射性物質トリチウムを含む処理水に関する意見書 | 12/8 | 10 | 9 | 7 | 2 | 原案可決 | × | ○ | ○ | 議 | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

会議等出欠状況

議会議長や、議会の中の各委員長等から招集通知があり、開催された会議や研修の出欠状況です。
このほかにも、町が主催する式典や小・中学校の発表会、広域圏組合や双葉地方町村会が主催する式典や会議にも出席しています。

令和2年10月1日～12月31日

○：出席 ×：欠席 △：遅刻、早退 ー：員外 弔：弔事 研：研修 公：公務 病：病気等

| 月 | 日 | 曜日 | 開催会議名等 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|---------|----|----|-------------------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|
| | | | | 阿部 憲一 | 北郷 伯弘 | 遠藤 浩 | 北郷 幹夫 | 門馬まりえ | 畑中 大子 | 小磯 利雄 | 門馬 巧 | 渡邊 正俊 | 黒田 政徳 |
| 出席回数(回) | | | | 12 | 13 | 10 | 15 | 12 | 13 | 14 | 10 | 12 | 11 |
| 会議回数(回) | | | | 13 | 13 | 10 | 15 | 13 | 13 | 14 | 11 | 13 | 11 |
| 10 | 5 | 月 | 広報委員会 | ○ | ○ | - | ○ | - | ○ | ○ | - | ○ | - |
| 10 | 7 | 水 | 広報委員会 | ○ | - | - | - | - | - | - | - | ○ | - |
| 10 | 8 | 木 | 町村議会議員研修会 | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | × | ○ |
| 10 | 12 | 月 | 令和2年第5回臨時会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 10 | 16 | 金 | 振興公社臨時株主総会 | - | - | - | - | - | - | ○ | - | - | - |
| 10 | 20 | 火 | 例月現金出納検査 | - | - | - | - | ○ | - | - | - | - | - |
| 10 | 23 | 金 | 復興副大臣と議会議長との意見交換会 | - | - | - | ○ | - | - | - | - | - | - |
| 11 | 12 | 木 | 総務文教常任委員会 | - | - | - | ○ | ○ | ○ | - | - | ○ | ○ |
| 11 | 13 | 金 | 産業厚生常任委員会 | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - | ○ | ○ | - | - |
| 11 | 16 | 月 | 令和2年第6回臨時会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 11 | 16 | 月 | 全員協議会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 11 | 20 | 金 | 例月現金出納検査 | - | - | - | - | ○ | - | - | - | - | - |
| 11 | 30 | 月 | 全員協議会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 12 | 1 | 火 | 議会運営委員会 | - | ○ | - | ○ | - | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| 12 | 7 | 月 | 令和2年第4回定例会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 12 | 8 | 火 | 令和2年第4回定例会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 12 | 15 | 火 | 全員協議会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 12 | 17 | 木 | 広報委員会 | ○ | ○ | - | ○ | - | ○ | ○ | - | ○ | - |
| 12 | 18 | 金 | 例月現金出納検査 | - | - | - | - | ○ | - | - | - | - | - |
| 12 | 25 | 金 | 全員協議会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

議会の様子を見てみませんか？



次回の定例会は3月です

議場傍聴席入口にある受付簿に住所・氏名をご記入いただくだけで、議会を傍聴できます。
また、定例会の録画映像をインターネットでも配信しています。広野町ホームページまたは、右のQRコードからアクセスできますので、ぜひご視聴ください。



広野町ホームページ
<https://www.town.hirono.fukushima.jp/>
 議会映像ホームページ
<http://hirono.k-quick.net/>





震災・原発事故から10年

当時を振り返って思うことは？

広野町に大きな爪痕を残した東日本大震災及び原発事故から間もなく10年を迎えます。

当時を振り返り、今の町の状況を見て感じることをお2人にお聞きしました。



北郷 幸生さん
(折木)

あれから10年、町の風景も駅の東側にビルやアパートが建ち、浜街道も整備され、様変わりしました。
当時一歳だった長男と、まだお腹の中にいた次男と穏やかな海を眺めながら、この浜街道を走ることが週末の楽しみの一つです。
未来を担う子供達のためにも故郷の復興が進むことを願っています。



坂本 洋子さん
(下浅見川)

震災から早十年、誰もが経験した事がない恐怖と先が見えない不安でいっぱいでした。
家族は親戚のお世話になり仮設住宅で生活をし、いわき市の方には大変お世話になりました。
広野に戻って五年、町の復興も目覚ましく東口の開発や未来学園の開校、町に活気が出て私達も元気を貰っています。
そして今年はコロナ禍の中厳しい状態が続いています。一日も早い収束を願っています。

編集後記

あの地震・津波・原では無いのかと思いきり発事故から10年が経とうとしています。
(阿部 憲一)

この歳月を振り返ると、色んな思い、後悔、自分の非力さを数えるばかりです。

そして、我々の広野町議会は現実を直視しているのか、為すべき課題に取り組んできたのか、平時と同じつもりでいたのではないかと、大いに疑問とするところですが、

これまでとこれからと、健康問題、賠償、町の財政や成り行きのことなど課題は実に山積みです。

しっかりと腰を上げて、町民を含めた合同委員会を立ち上げ、国に対して行動に出る時



寒風に耐えるサザンカ

次の定例会は3月です

- 発行・編集責任者 議長 北郷幹夫
- 広報委員会 委員長 阿部憲一
- 委員長 渡邊正俊
- 委員 小磯利雄
- 委員 畑中大子
- 委員 北郷伯弘